

C&C コミュニケーション



Cure and Care
communication

第86号

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>



ナカムラ病院

介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい

医療法人ピーアイエー



特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
訪問介護事業所
居宅介護支援事業所

社会福祉法人 双樹会

地域連携センター 開設1周年



平成二十六年九月「医療福祉相談室」は、今迄以上に地域との連携促進を図るべく「地域連携センター」として生まれ変わりました。センター長である当院長をはじめ、看護副部長（センター長補佐）、心理士が加わり、今迄以上にスムーズな入退院調整を行うことを心掛け業務

に当たって参りました。

内容としては、まず業務の見直しを実施しました。現在行っている業務一つ一つを挙げていき、相談員でなくとも出来ることは、他部署にお願いをする等業務の見直し・効率化を行いました。

連携センター内でも各々で情報把握がスムーズに出来るように工夫を行いました。

ハード面でも、二つに区切られていた部屋の中央壁を取り払い、一つに繋げました。

更に、病院・施設・事業所等への訪問をルーチン化するようにしました。「電話でのやり取りだけではなく、実際に訪問することで顔と顔の見える関係が出来る。」「入院・転院先を検討している場面で、当法人が選択肢の一つとして頭に思い浮かべて頂ける関係を築いていきたい。」との思いから訪問活動に取り組んでおります。実際に訪問に行ってみての感想としては、手ごたえは十分にあったように思います。その反面、「ナカムラ病院は、いつも満床だと思っていた」という声がまだまだ聞かれたのと、当院から遠方にある施設になると、機能を十分に把握して頂けないこともありました。しかし、こうした現状が分かったことだけでも意義はありましたし、当院の現状を知って頂く良い機会にもなりまし

た。訪問させて頂いた機関の方々には、お忙しいなか丁寧な話を聞いて頂き、この紙面を借りて改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございます。この訪問は定期的に行っていくべき、当院の機能や空床状況等をお伝えし、お困りの方に迅速に対応出来るようにしていきたいと思っております。

今後は、今まで以上に内でも外でもスムーズな連絡・調整が取れるようにしていきたいと思っております。現在は、服薬調整目的やレスパイトの短期入院も出来るだけ速やかに入院して頂けるよう調整をしています。「今が困っているの何とかがしてほしい」という声も実際にお聞きします。入院と退院を上手く効率よく調整していくことで、現在困っている方々に出来るだけ速やかに入院して頂けるように努めていきたいと思っております。何かございましたら、いつでも遠慮なくご連絡頂ければと思います。

※名刺に連携センター直通の番号を開設し記載しているのと、顔を覚えてもらいやすいようにと写真を載せています。

地域連携センター副センター長

小田 茂樹



私たちこんなことを発表してきました

第23回 日本慢性期医療学会 名古屋大会

慢性期治療力を高めよう 高度急性期から慢性期への最高のバトンタッチ

会期:2015年9月10日(木)～11日(金)
会場:名古屋国際会議場

ナカムラ病院からは15名が参加し3名が発表しました。

入浴に関する業務改善の取り組み

B5病棟 介護職 柿原 美加



入浴時間の開始と終了の遅れが多く、患者様、職員双方の負担に繋がっている現状から、業務改善の実施結果を発表いたしました。アンケートで得た職員の意見を基に修正を重ね、マニュアルの見直しをおこない、終了時間を45分程度早くすることができました。患者様のケアの時間が増え、食事までの落ち着いた時間の確保に繋がりました。今後も患者様や職員が、安全で過ごしやすい環境をつくるために、努力していきたいと思っております。

当院における歯科院内研修の再考

～開口障害を認める患者に対する
病棟での口腔ケア実践状況から～

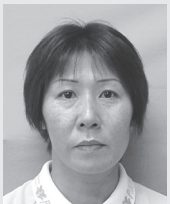
歯科主任 山根 次美



歯科では月に一度、職員に院内研修を開催しています。この度は「開口障害を認める患者への口腔ケア」についての研修を1年間行い、参加者に研修で学んだことが病棟で実践できているのか等把握するため、質問紙調査を実施しました。その結果、引き続き研修では実習形式を取り入れ、職員が実施できる安全な口腔ケア方法を提案することの重要性が考えられました。今後も院内全体の口腔ケア技術の向上を目指していきたいと思っております。

被害妄想から嫉妬妄想に変化した対応困難事例

デイケアにぎや家 介護職 小尻 恵



被害妄想が現れ、その被害妄想が嫉妬妄想に変化した事例について発表しました。デイケア利用中に職員が話した内容や、ご家族が話した内容がご本人の中で変化し嫉妬妄想へつながっていると分かりました。その改善策として主治医、職員、ケアマネ、地域包括支援センター等で協力し、ご家族への支援をしてきました。今回、研究・発表を行ったことで、認知症状には様々な要因があり、対策方法もその人それぞれで違うことが分かりました。今後はそのことをしっかり理解しケアに活かしていかなければならないと思っております。

第26回 全国介護老人保健施設大会 神奈川 in 横浜

高齢者が輝く未来を お洒落に! スマートな連携!

会期:2015年9月2日(水)～4日(金)
会場:パシフィコ横浜

まいえからは6名が参加し1名が発表しました。

理想の職員になるために ～職員ハンドブックを見直して～

まいえ1 介護職 紙元 智代



日々行っているケアでの言葉遣いや対応を見直すため、当院で定められている理念と行動指針を基にアンケートを実施しました。毎朝行動指針を読み上げることで意識を高め、職員ハンドブックの内容に沿った「理想の職員振り返りシート」を作成し、毎日業務終了後に評価を行いました。それにより、一人ひとりが同じ方向性のもと行動することで理想の職員に一步近づく事ができたことを発表しました。今後も入所者さまに満足していただけるケアを提供していきたいと思っております。

シリーズ全4回

第3回

地域包括ケアシステムについて

～5つの構成要素 その①～

今回は、地域包括ケアシステムの5つの構成要素の「すまいとすまい方」「生活支援・福祉サービス」の2つの要素についてご紹介いたします。残りの3つの要素は次号で紹介する予定です。

● すまいとすまい方



地域包括ケア研究会報告書より

地域包括ケアシステムでは、まず高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた「住まい」が提供される事が前提です。そのために、自宅の住環境の整備やサービス付き高齢者向け住宅の整備などが必要とされています。

サービス付き高齢者向け住宅とは、バリアフリーの住宅に安否確認・生活相談サービスなどがついており、自宅で生活する事が困難な高齢者の住まいの場として期待されています。しかし、家賃やサービス料などは施設によって様々であり、誰でも入居できるわけではありません。

今後は、低所得高齢者を対象とした住まいの場の確保も必要になってきますし、本人の希望や経済力にかなった「住まい方」の確保もしなければなりません。

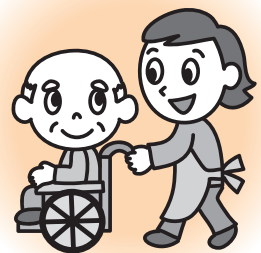
● 生活支援・福祉サービス

その住まいにおいて安定した日常生活を送るための「生活支援・福祉サービス」があることが基本的な要素となります。

「生活支援」には、食事の準備などのサービスから近隣住民からの声かけや見守りなどの支援まで幅広くあり、担い手も多様です。生活困窮者などに対しては、福祉サービスとして提供されることもあります。

今後は地域住民やNPO、地域団体、ボランティア等による多様な主体が高齢者の多様なニーズに対応した生活支援サービスを提供できるようにする事が必要となります。

また、市町村や地域包括支援センターはこれらの生活支援の基盤を整備するためのコーディネーターの役割を果たすことが必要であり、広島市では各地域包括支援センターに生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置することになっています。



栄 養 の お 話

秋になりましたね。秋といえば、「スポーツの秋」でしょうか？でも、急に張り切りすぎて筋肉痛になっちゃった!という方も多いのではないのでしょうか。今回は、筋肉痛に効く食品をご紹介します。

○疲労回復のためのクエン酸

お酢やレモン・梅干しなどに多く含まれています。黒酢を使った料理もおいしいですね。

○筋肉の修復をしてくれるたんぱく質

肉や魚・大豆製品に多く含まれています。食事をしっかり食べましょう。

○たんぱく質の働きを助けてくれる亜鉛

レバーや牡蠣・牛肉などに多く含まれています。

○血行促進のためのビタミンC

野菜や果物に多く含まれています。手軽に飲める100%のオレンジジュースなどもおススメです。

きちんと栄養・水分補給をして、これからもスポーツを楽しんでいきたいですね。

ナカムラ病院 栄養科主任 長村 悦子



暑さ厳しい八月三日、屋内で楽しんでいただけるように「浴衣を着て盆踊り」を計画しました。最初は乗りしなかつ

た方も、浴衣を手にするよ「昔はよく着てたのよ」と自分で身衣を合わせ、鏡を見ながら嬉しそうにさされていきました。着付けの終わった女性陣の浴衣姿に、はっぴ姿の男性陣から「ほお〜」と歓声が上がりました。全員で炭坑節を踊り、楽しく過ごすことができました。

最後にアイスクリームを食べながら「あー、暑かった。でも、楽しかった」の言葉に励まされ、さて次は何をしましょうか?と考えています。

グループホーム つばい
ホーム長 川部 朋美



九月六日(日) 多年にわたり社会に尽くして来られた皆さま方を敬愛し、長寿のお祝いをする毎年恒例になりました「敬老会」を開催しました。ご入所者の皆さまを大変嬉しく思います。節目の方々には記念品と花束を贈りお祝いをしました。

陽光の家では九月現在最高齢百歳の方が二名です。平均年齢八七・八歳(男性：八三・二歳、女性：八八・四歳)、平均介護度四・一となっております。

昼食では多くのご家族のご参加もありご利用者さま・ご家族と一緒に食事会、楽しいひと時に

なったのではないかと思います。また、日頃の様子や、昔の話、ご家族同士でお話しされることもあり、とてもよい交流にもなりました。

午後からは慰問の手品がございました。日頃お目にかかれない手品を前にご利用者さまは「えっ???なんだ???」と不思議に感じておられました。また、慰問の方から手品のネタを一つ教えて頂き、一生懸命に習得できるように取り組んでおられたことがとても印象的でした。

これからも職員一同ご支援させていただき、楽しい時間を過ごしていただけるように努めて参ります。

特別養護老人ホーム 陽光の家
生活相談員 佐々木 雄治



長
寿
の
秘
訣

今回の「長寿の秘訣」は介護老人保健施設まいえに入所中の兒玉時春さまにインタビューしました。



▲兒玉 時春さま(105歳)

Q 兒玉さんは今年百五歳になられました！ おめでとうございます。

A ありがとうございます。

Q 長生きの秘訣は何ですか？

A あまり物事を深く考えずに楽しんでジョジョジョですね。

Q 体調で気をつけておられることはありますか？

A 特別ないですが、お酒は飲まないし煙草も四十代でやめて、おかげでここ最近は大きな病気をしてないです。

Q すごくお元気そうですね

A おかげさまで、耳もよく聞けるし、目も普通に生活するには不自由してませんね。

Q 最後に読者の皆さんに一言

A (笑) とにかくクヨクヨせずにおおらかに生活するのが一番です。

ありがとうございます。これからもお体に気をつけてお元気で過ごしてくださいね。

畑通信

六月にJ A広島信連さまのご厚意により園芸活動講習会をしていただきました。夏野菜の育て方や土作り、肥料の種類など、色々教えてもらうことができました。その時に紹介された肥料を使って、患者さまとサツマイモの追肥を行いました。今から秋の収穫を楽しみにしています。

ナカムラ病院リハビリテーション科
作業療法士 高松 芽久美



いきいき 行事だより

夏 拡 大 版



▲和気あいあい。夏を満喫!



▲薬味もたっぷり。いただきまーす!

そらめと流し

まいえ2



▲口紅さして、はい、ポーズ!!



▲みなさん、楽しそうに踊っておられます

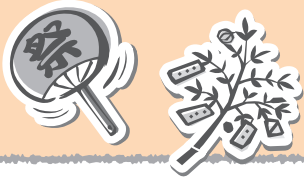


盆踊り

B7病棟

7月

- 七夕(A3、B5、B7、まいえ1)
- 七夕飾り作りとお誕生日会(まいえ2)
- 昼食バイキング(まいえ1、まいえ2)
- B1、B3、B4合同運動会(リハビリ)
- 浴衣祭り(にぎや家)
- 慰問【げんきなこ】(陽光の家)
- 生花クラブ(陽光の家)
- ボランティア・売店・書道クラブ
(陽光の家)
- 慰問【そよ風】(陽光の家)
- 夏祭り(陽光の家)
- 法話会【長福寺】(陽光の家)



8月

- 浴衣祭り(つばい)
- 夏の映画鑑賞会(A3)
- そうめん流し、誕生日会(まいえ2)
- 盆踊り(B7)
- 夏まつり(まいえ1)
- フルーツバイキング(B5、まいえ2)
- 納涼お楽しみ会(全体行事)
- デイケア ピアガーデン(にぎや家)
- 法話会(リハビリ)
- 生花クラブ(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- 慰問【大正琴】(陽光の家)
- 法話会【教専寺】(陽光の家)



9月

- ビデオ鑑賞(A3)
- ドッグセラピーと9月生まれお誕生日会
(まいえ2)
- 9月生まれお誕生日会(まいえ2)
- 敬老会(全体行事)
- 「げんきなこ」音楽会(まいえ1)
- 誕生日会&敬老会(つばい)
- フルーツバイキング(まいえ1)
- 地域推進会議(つばい)
- お月見(B5)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- デイケアバイキング(にぎや家)
- マジックショー(B6)
- ボランティア・売店・書道クラブ
(陽光の家)
- 敬老会(陽光の家)
- 法話会【正覚寺】(陽光の家)



行事ダイジェスト



▲ギターの音色と歌声に、みなさんうっとり。

納涼 全体行事 お楽しみ会



▲みなさん大満足の行事になりました!!



▲迫力ある太鼓の演奏に大感動でした。



第13回
患者さま・
利用者さま

作品展

今を生きる作品たち

作品展も今年で十三回目を迎えました。今年はナカムラ病院、にぎや家、まいえ、つばいから五〇〇点以上もの作品たちが集結しました。塗り絵や貼り絵、書道など、中には四季や懐かしさを感じさせるものなど、見応えのある作品ばかりです。正面玄関には、案山子やトンプ、秋桜の花を飾り、秋らしさを演出しました。

患者さまと作品展巡りをしていくと、自分の作品や名札を見つけて自然と笑顔がみられます。私たちにとっても嬉しい瞬間です。書道も多く展示されており、「力強くて良いね」「良い字を書いているね」と、じっくりと鑑賞されています。

また、まいえによる生け花の展示も二回に分けて行われ、見事に生けられた花



ナカムラ病院リハビリテーション科
作業療法士 高松芽久美

を身近に感じる事ができ、どの方も非常に喜ばれていました。今後も患者さまや利用者さまとの日々の関わりを大事にし、その人らしく、作品展のテーマでもある「今を生きる」を援助していけるよう、一人一人に合った作業や活動を提供していきたいと思えます。



日本老年歯科学会 第26回学術大会

「当院におけるNST介入を行った患者の服薬状況に関する調査」の発表をさせて頂きました!

要介護高齢者の方にとって、お薬の飲みづらさ、飲みにくさが現在注目されています。今回の学術大会にて当院の患者さまがどのように工夫をして薬を内服されておられるか調査し発表させて頂きました。今後もより詳しく調査・研究させて頂くことで適切な服薬方法を提案できるようになればと考えております。

歯科医師 山脇 加奈子



編集後記

秋が訪れ、木の葉がきれいに色づきはじめてきました。四季それぞれに良さがありますが、私にとって、秋が一番好きな季節です。氣候が穏やかなので、外に出てゆっくり歩くだけでも良い気分転換になります。

また、「スポーツの秋」「芸術の秋」といわれるように、さまざまなおもしろい取り組みや季節感があります。みなさまもぜひ、お好きなことに取り組みまれてはいかがでしょうか?

(H)



平成27年 平成28年
10月 ▶ 1月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。	
展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	10月中旬▶12月中旬 全日本写真連盟広島県本部 佐伯支部写真展
	12月下旬▶1月下旬 2016年 カレンダー展
第二展示コーナー	10月中旬▶12月中旬 広島市立大学芸術学部 学生有志作品展
	12月下旬▶1月下旬 2016年 カレンダー展